

さんふらわあむらさき船上新年会を開催(速報)

1月27日大阪南港発の、商船三井さんふらわあ(商船三井フェリーとフェリーさんふらわあの合弁で2023年に設立)の運航する大阪～別府航路のLNG燃料フェリー「さんふらわあむらさき」の船上で、日本クルーズ&フェリー学会の船上新年会が開催され、22名の会員・家族が参加しました。

集合場所は、ACTにある関西汽船の歴代船の模型等を展示している「さんふらわあミュージアム」と名付けられたスペースでした。ここには「こはく丸」「すみれ丸」「くろしお丸」「さんふらわあ」「まや丸」などの大型模型と別府航路の年表などが展示されています。

乗船券と食券が配られて、いよいよ18時45分に乗船。荷物を部屋に置いた後、ブリッジ見学が行われました。ブリッジでは光宗和行船長の詳細な説明がありました。日本初のLNG燃料船ですので、見学者からは、LNG燃料のバンカリングは、A重油との切り替えは、従来船との操船上の違いはあるかなど、様々な質問がなされました。

19時半からレストランで夕食会を兼ねた新年会が開催されました。最初に、同行していただいた上田直樹三菱造船取締役常務執行役員から、LNG燃料フェリー「さんふらわあむらさき」の技術的な講演がありました。こちらにも質問がたくさん投げかけられ、さすがは船好きの集団である学会らしいひと時になりました。その後、レストランの閉店時間になるまで、バイキング料理を食べ、ビールやワインを飲みながらの船談義が続きました。

翌朝の別府到着は7時55分。時々青空ものぞく天気でした。港には3台のLNGのタンクローリーが待機しており、もやい綱が繋がれて着岸すると共に、バンカリングの準備が始まりました。

22名のうち、関東から駆け付けた会員、九州在住の会員等、遠方からご参加の会員もいらっしゃいました。下船後、それぞれの予定に合わせて帰路に着きました。

帰りも「さんふらわあむらさき」を利用したのは4人。それぞれ、別府周辺の観光をして、夕刻にはフェリーターミナルに参集。再び乗船して大阪へと戻りました。

また、来年もまた船上新年会を開催したいと思います。

(2024.1.29 文責 池田良穂)



別府港に停泊する「さんふらわあむらさき」



ブリッジ見学。光宗船長の説明を聞きなが各種の航海計器の見学をしました。



階段での記念写真です。全員は入っていないのでごめんなさい。



別府港での LNG バンカリングの待機の様子です。



別府港に停泊する「さんふらわあむらさき」と、入港してきた宇和島運輸の「あかつき丸」です。